

バージョンアップをご検討のお客様へ

GUARDIANWALL 添付ファイルコンテンツチェック機能拡充に関する注意事項

NECソフト株式会社
ITシステム事業部

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

GUARDIANWALLの最新バージョンである V7.1で、添付ファイルのキーワード検査、パスワード有無検査で検出できるファイルフォーマットの種類を拡大しました。今回の機能拡充により、添付ファイルのセキュリティ強化を図っていますが、ファイルフォーマットの種類拡大に伴う検査対象が増加で、ハードウェアにかかる負荷も大きくなっております。

以下に、バージョンアップを行う場合の注意事項やお客様の既存システムにおよぼす影響、対処方法について記載します。バージョンアップ前にご一読の程、お願い申し上げます。

記

1. 注意事項

GUARDIANWALL V7.1 で以下のファイルフォーマットが添付された電子メールに対し、添付ファイルの検査(キーワード、パスワード有無)を行った場合、スループットが低下することがあります。特にPDF形式を検査する場合は、GUARDIANWALL V7.0 と比較して最大で約30%程度低下することがあります(弊社テスト環境にて調査)。添付ファイルの検査を行わない場合は、影響ありません。

追加アプリケーションファイル形式

- Microsoft Word 2007
- Microsoft Excel 2007
- Microsoft PowerPoint 2007
- JUSTSYSTEM 一太郎 2005/2006/2007
- PDF 1.7 (Acrobat 8.0)

2. 既存システムへの影響

電子メールの送受信時に、多少の遅延が発生する可能性が考えられます。ただし、一般的に電子メールは、遅延や再送が起こることを想定した仕組みを持っているため、検査処理に時間がかかっても、電子メールの送受信の停止や、メールが失われることはありません。

極端にハードウェアのスペックが低い場合、前段MTAでの送信タイムアウトを引き起こすことも考えられますが、その場合は前段MTAでのタイムアウト値を大きくする等の処置により対応できる場合もあります。

3. 対処方法

以下のシステム要件を満たさない場合は、スループットへの影響が大きい可能性があります。
導入前に、ハードウェアのアップグレードをご検討下さい。

- ・対応バージョン : RedHat Enterprise Linux AS/ES V3、4
(動作環境に libstdc++.so.5 が必要)
- ・CPU : 上記 Linux が稼働する Pentium4 相当以上の CPU
- ・メモリ : 1GB 以上推奨
※全文検索機能使用時(Advanced モデル)は、導入先サーバは 2GB 以上必須

以上